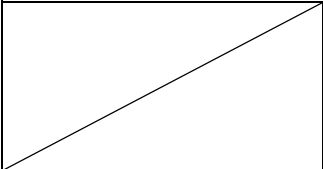


| | | |
|--|--|---|
| <p style="text-align: center;">スポーツ科学特論 (Advanced Sports Science)</p> | <p style="text-align: center;">1 年・後期・2 単位・選択 システム創成工学専攻・物質創成工学専攻 担当 松井 良明</p> | |
|  | <p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 A-2, D-2 物質創成工学専攻は対象外</p> | <p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 b, i 物質創成工学専攻は対象外</p> |
| <p>〔教育方法等〕</p> <p>概要：</p> <p>スポーツ科学の知識と意義を広く学ぶことで、「アクティブ・ライフ」の重要性に気づき、健康で生き生きとした社会生活の実現について自ら考えていけるようにする。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法：</p> <p>スポーツ科学の内容を、「スポーツ医科学」、「健康スポーツ」、「アスレティックトレーニング」、「スポーツコーチング」、「スポーツ教育」、「スポーツビジネス」、「スポーツ文化」という 7 つの領域を中心に講義する。</p> <p>注意点：</p> <p>関連科目 体育実技Ⅰ、体育実技Ⅱ</p> <p>学習指針 講義を通してスポーツ科学に対する関心を深めるとともに、情報収集も自ら積極的に行うこと。</p> <p>自己学習 スポーツ科学に幅広く関心をもつこと。学習したことを自身の生活の中で実践してみること。</p> | | |
| <p>〔教科書〕</p> <p>教科書は使用しない。講義時に参考資料を配付する。</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>早稲田大学スポーツ科学学術院編『教養としてのスポーツ科学』大修館書店</p> | | |
| <p>〔到達目標〕</p> <p>スポーツ科学の知識と意義を理解し、「アクティブ・ライフ（健康で生き生きとした社会生活）」の実現に対する知識と行動力を身につける。</p> | | |
| <p>〔評価割合〕</p> <p>成績評価は課題レポート評価（100点）によって行う。</p> | | |

授業計画

| | 週 | 授業内容・方法 | 到達目標 | 自己評価* |
|--------|------|---------------|--|-------|
| 後 期 | 1 週 | ガイダンス | 授業の概要、進め方、評価方法を理解し、説明できる。 | |
| | 2 週 | スポーツ医科学① | 身体運動を生み出す生体のしくみとスポーツ工学について説明できる。 | |
| | 3 週 | スポーツ医科学② | 身体運動と身体の適応と変化、スポーツ心理学について説明できる。 | |
| | 4 週 | 健康スポーツ | 健康スポーツを学ぶ意義と実践、肥満の改善について説明できる。 | |
| | 5 週 | アスレティックトレーニング | アスレティックトレーナーの役割と意義、必要な知識について説明できる。 | |
| | 6 週 | スポーツコーチング① | スポーツコーチングの役割と責任、必要な資質と能力について説明できる。 | |
| | 7 週 | スポーツコーチング② | 種目ごとのコーチング実践例について説明できる。 | |
| | 8 週 | スポーツ教育 | スポーツ教育の意義と歴史について説明できる。 | |
| | 9 週 | スポーツビジネス① | スポーツ産業とスポーツ組織、スポーツ政策について説明できる。 | |
| | 10 週 | スポーツビジネス② | スポーツとメディア、イベントとツーリズム、企業スポーツとプロスポーツについて説明できる。 | |
| | 11 週 | スポーツ史 | スポーツの人類史について説明できる。 | |
| | 12 週 | スポーツと人類 | 民族スポーツの定義と広がりについて説明できる。 | |
| | 13 週 | スポーツと社会 | 近代スポーツの定義と広がりについて説明できる。 | |
| | 14 週 | スポーツ文化研究 | スポーツ文化の広がりと研究方法について説明できる。 | |
| | 15 週 | まとめ | スポーツ科学の広がりについて説明できる。 | |

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった.